

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36301	ネイルアートⅠ（ベーシック編） Nail ArtⅠ（Basic）	内田 直子	✓	専門	1	選択	1.2前期
科目の概要							
ネイルケアやネイルカラーの塗り方について基本を身につける。 色々なネイルアートの方法を知る。 ジェルネイルの基礎知識を理解したうえで、ネイルチップや自爪にアートができるようにテクニックを修得する。 柔軟な発想をもちデザインを考えネイルチップに作品を制作して提出する。 作品制作に取り組む中で社会人基礎力を身につける。 ネイルアートⅠは、ディプロマ・ポリシー①②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。 ★美容業界で経験した実務を活かして基本的なネイルアートの実際、お手入れの基本を具体的に教授する。							
学修内容				到達目標			
① ネイルアートについて基本的な知識を理解する。 ② 正しいネイルケアの方法を知る。 ③ オリジナルデザインの作品を制作する。 ④ ジェルネイルの施術方法を理解する。				① ネイルアートの技術を身につけ、自分で作品ができることができる。 DP（③） ② 正しいネイルケア方法を身につけダメージのない爪にすることができる。 DP（②③） ③ イメージしたデザインを作品として完成させることができる。 DP（③④） ④ 表面にツヤがあり凸凹のないジェルネイルに仕上げる ことができる。 DP（①③）			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分からネイルの技術を身につけようと積極的に授業に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	苦手な課題に対してもあきらめずに作品の完成を目指し努力することができる。					
考え抜く力	課題発見力	作品を完成させるために自分がより努力しなければいけないアート課題等を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	オリジナリティーのあるデザインを考え作品に表現することができる。					
チームで働く力	発信力	身につけた知識や技術を活かし自由な発想で作品を制作し、見た人に自分のイメージや表現したいことを伝えることができる。					
	傾聴力	アート方法の説明等を理解しながら聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 道具：ジェルブラシを注文する場合は1本990円（税込み）＊メーカー都合等で価格変更の場合あり ネイルカラーやチップなどの道具は各自で準備する。 材料費：1人 1000円程度徴収の予定。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
配布プリントやノートに授業中の説明やポイントとなるところを自分なりにまとめておくと良い。 授業の時間以外にもネイルのデザインや色使いなど、参考になりそうな雑誌や写真を見るようにすると良い。				作品の提出期限は必ず守ること。 欠席、遅刻、早退等は連絡すること。授業中は無断で入室しないこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			作品の完成度が特に高くデザイン、色使いともに工夫がみられる：90点 作品の完成度が高く、デザインに工夫がみられる：80点 指定のアート方法が使われ丁寧に作品が完成している：70点 作品は完成しているが、丁寧さや工夫に努力が必要：60点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）積極的に技術を身につけようとしていることができる。 （実行力）授業で行うアート課題を完成させようと取り組むことができる。 （課題発見力）自分が苦手なアート課題を把握することができ、練習に取り組むことができる。 （創造力）オリジナルのデザインを考えることができる。 （発信力）作品のデザインを見た人にも自分のイメージを伝えることができる。 （傾聴力）授業で説明したこと、周囲からのアドバイスや意見を理解できている。 （規律性）遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A（優） 作品のベースカラーにムラがなくツヤのある仕上がりになっている。アート部分の面積がネイルチップ全体の3分の2以上をしめており、細かい部分まで滲みやムラがなく丁寧に仕上がっている。 S（秀） 上記内容に加え作品の色使いに優れ、デザインにもオリジナルの工夫がみられる。	C（可） アートの手順を理解し、授業で学んだアート方法が作品に取り入れられている。 B（良） 上記内容に加えベースカラーにムラがなくアート部分の面積がネイルチップ全体の3分の1以上をしめている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	授業で使用するネイル道具、材料の名称について学ぶ。	(講義)	ネイル道具の名称と用途を説明できる。	(復習) 次回までにネイルケアやアートに必要な道具の準備と名称を覚えておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	ファイリング(爪の長さや形を整える)、カラーリングの方法を学ぶ。	(講義・実習) 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。	ファイリングとカラーリングの手順を説明できる。	(復習) 授業で学んだファイリングとカラーリングの手順についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	アートの方法を学ぶ ・ウォーターマール ・ドットアート	(実習) 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。 アート方法を動画で視聴する。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	(復習) 授業で学んだウォーターマールとドットアートの手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	アートの方法を学ぶ ・グラデーションアート ・スポンジアート	(実習) 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	(復習) 授業で学んだグラデーションアート、スポンジアートの手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	アートの方法を学ぶ ・ピーコックアート ・ストーンアート	(実習) 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。 アート方法を動画で視聴する。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	(復習) 授業で学んだピーコックアート、ストーンアートの手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	前回までの授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をする。	(実習) 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。	授業で学んだアート方法を5種類以上使い、提出作品の制作をすることができている。	(予習) 提出作品のデザインを決め、作品に使用する材料の準備をしておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	前回までの授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をする。	(実習) 制作中、あるいは完成した作品に対してフィードバックする。	授業で学んだアート方法を5種類以上使い、提出作品の制作をすることができている。	(予習) 提出作品のデザインを決め、作品に使用する材料の準備をしておく。 (復習) 作品の提出準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	ジェルネイルに必要な道具、材料の説明。ジェルの塗り方を学ぶ。	(実習) 制作中、あるいは完成した作品に対してフィードバックする。	ネイル道具の名称と用途を説明できる。 塗り方の手順を説明できる。	(予習) 授業に必要な道具の準備をしておく。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	プレパレーションの手順について学ぶ 爪の病気について学ぶ。	オンデマンド（講義・実習）	プレパレーションの手順について説明できる。	（復習） 授業で学んだプレパレーションの手順や、病気についてノートにまとめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
10	カラージェルの塗り方を学ぶ。凸凹のない表面に仕上げられるように練習を行う。 ジェルのオフ方法を学ぶ。	（実習） 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。	カラージェルの塗り方、オフの手順を説明できる。	（復習） ジェルの塗り方、オフの手順やコツをノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	ジェルアートの方法を学ぶ。 ・ラメグラデーションアート ・ストーンアート	（実習） 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。 アート方法を動画で視聴する。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	（復習） 授業で学んだラメグラデーションアート、ストーンアートの手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ジェルアートの方法を学ぶ ・チェック柄 ・レオパード柄	（実習） 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。 アート方法を動画で視聴する。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	（復習） 授業で学んだチェック柄、レオパード柄の描き方の手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ジェルアートの方法を学ぶ ・ピーコックアート ・マーブルアート	（実習） 授業中の作業手順等を確認しフィードバックする。 アート方法を動画で視聴する。	授業で学んだ2種類のアートの手順を覚え、それぞれのアート作品を作ることができる。	（復習） 授業で学んだピーコックアート、マーブルアートの手順やコツをノートにまとめる。 PCでアート方法の動画を見直す	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	前回までの授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をする。	（実習） 制作中、あるいは完成した作品に対してフィードバックする。	授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をすることができる。	（予習） 提出作品のデザインを決め、作品に使用する材料の準備をしておく。 （復習） 作品の提出準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	前回までの授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をする。	（実習） 制作中、あるいは完成した作品に対してフィードバックする。	授業で学んだアート方法を使い、提出作品の制作をすることができる。	（予習） 提出作品のデザインを決め、作品に使用する材料の準備をしておく。 （復習） 作品の提出準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力